

平成 25 年 10 月 21 日

(あて先) 富士市長

富士市生ごみコーディネーター出前講座及び啓発活動報告書 (10 月分)

団体名：NPO 法人 富士市のごみを考える会  
氏名：熊谷 良子、 竹内 敏夫、

- ・ 出前講座を開催した場合、講座内容等を具体的に記載してください。(別紙も可)
- ・ 地域でごみ分別等の啓発活動を行っていただき、その際に地域住民からの要望等があればその内容を記載してください。

実施日時	会場	対象	参加講師 人数	講座内容・地域住民からの質問・要望等
10 月 11 日 ----- 10:30~12:10	岩松北小学校	小学 4 年生 (119 名)	8 名	講座内容は、添付別紙「実施企画書」の通り

※ 出前講座を開催した場合については、報奨費の対象になります。口座未登録の場合は、口座振込み申請書が必要になります。

富士市岩松北小学校環境授業  
実施企画書

NPO 法人富士市のごみを考える会

- 授業日時：平成 25 年 10 月 11 日（金）3・4 時限目（10 時 30 分～12 時 10 分）
- 対 象：富士市岩松北小学校 4 年生 119 名 主担当：畑先生
- ねらい
  - ① 3R について知り、3R の実践を日常生活で行えるようにする。
  - ② ごみを作らないためにはどうしたらよいかを学び気づく。
  - ③ ごみは、自分の気づき次第で、ごみではなくなることに気づく
  - ④ 生ごみ資源化を通して、食物連鎖・微生物の働きを体験として学ぶ
  
- スタッフ：NPO 法人富士市のごみを考える会より、講師派遣 ??名
- 生徒持物
  - ① 気づいたことを書き取るノート
  
- 学校に用意していただくもの
  - ① スクリーン（パソコンとプロジェクターは持ち込みますので、それを投影できるもの）
  - ② 延長コード（パソコン用、プロジェクター用）
  - ③ パソコン・プロジェクターをおくテーブル（1 つ）
  - ④ バケツの下に引く新聞紙かビニールシート（生ごみをこぼしたときのため）
  
- 当会で用意する物品
  - ①
  - ② 3R のお話し（小野）
  - ③ 3R のお話しサンプル（時田準備）
  - ④ ノートパソコン（小野）
  - ⑤ プロジェクター（小野）
  - ⑥ カメラ（縣）
  - ⑦ 生ごみ堆肥化のお話し（竹内）
  - ⑧ EM ぼかしー生ごみサンプル（竹内）
  - ⑨ ごみ減量の歌（歌詞）（小野）
  - ⑩ 3R 学習教材副読本（時田準備ー130 部）

10月11日（金） 3・4時限目 10時30分より～12時10分（9時30分 集合）

<授業の流れ>

時 間	内 容	担当者
9:30～ 10:20	会場準備 畑より生ごみを埋めた土回収、生物採取	会員
10:30～10:35 (5分)	挨拶・スタッフ紹介	先生&小野
10:35～ 11:05 (30分)	<リサイクルよりリユース、リユースよりリデュース> 資源ごみとして収集されたものはどのようにリサイクルされているか？ プラスチック容器包装ごみ、ペットボトル、古着、アルミ缶、ガラス瓶、・・・	小野
11:05～11:15 (10分)	トイレ休憩（10分）	先生
11:15～11:45 (30分)	生ごみのお話 土について 野菜が育つということ 生ごみの資源化実体験 班ごとに分かれて行う 実際に生ごみでできた土に種をまこう！	竹内
11:45～11:55 (10分)	まとめ・感想発表	小野
11:55～12:10 (15分)	生徒たちのお話し 終わりの挨拶	先生

縣：全体進行・時間管理・写真・バックサポート



NPO 法人富士市のごみを考える会

企画責任：小野 由美子

Tel or FAX：35 - 2439

携帯：080-5102-2439

[onoyumiko27-6@ny.thn.ne.jp](mailto:onoyumiko27-6@ny.thn.ne.jp)